

ONCC 10期 ミュージアムに行こう

第10回テーマ 逸翁美術館 小林一三記念館

『美人画って何?』⇒ 『絵画で女子会!』(描かれた女性たち)

【事前学習】2023年2月2日 逸翁美術館主任学芸員 宮井肖佳様



参加者 38名 (CA2名)

【鑑賞会】2023年2月9日 逸翁美術館 小林一三記念館

『絵画で女子会!』描かれた女性たち

参加者 34名 (CA2名)

★今回の事前学習・鑑賞会で、今期から始まった'ミュージアムへ行こう'は、終了です。毎回好評だったからでしょう。次年度もまた開催されるようです。素晴らしいことですネ、うれしいことです。(私事ですが、次年度も参加します!) 毎回、とても楽しく、有意義な時間を共有できました。特にCAさんお二人には大感謝です。(上の写真、点呼を行っている方は岸本さん、旗を持って引率されている方が広瀬さん)

❖最後の講座テーマ『美人画って何?』そして、実際の展覧会『絵画で女子会!』も、びっくり!!でした。いわゆる『美人』の定義を歴史的に紐解きつつ、『美人画』の系譜を作品毎に具体的に、体系的に解説頂きました。全く画期的だと思います。ちなみに広辞苑(4版)によると、『美人』は顔・姿の美しい女。『美人画』は女性の美しさを主眼においた絵画。何ともファジーで、微妙な言い回しですね。夏目雅子と大原麗子、どっちが美人? 黒木華と杉咲花、どっちにハナがある?と、いったようなハナシではありません・・・。

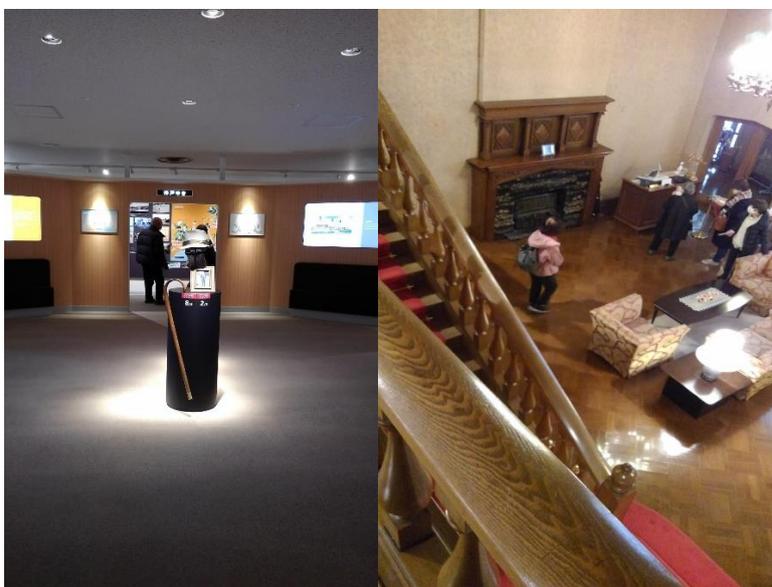


《小林一三記念館》

- 残念ながら、シンボルの美しい屋根は工事中でした（右）



- とても管理（清掃）が行き届いていて心地よかったです。邸宅レストランもあります。（「雅俗山荘」完全予約）



●茶室が3室もありました。びっくり



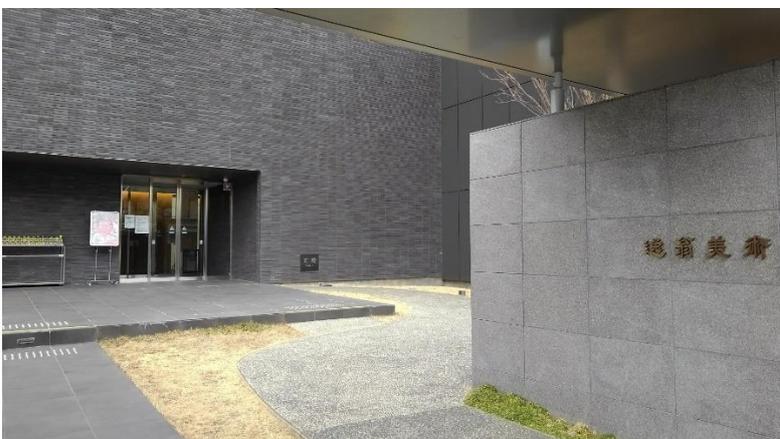
《逸翁美術館》

●『絵画で女子会！ 描かれた女性たち』

鎌倉時代から明治・大正まで、41点の『美人画』を堪能しました。

特に、一番最後の大屏風、大原吞舟作「浮世絵美技図屏風」には、圧倒させられました。何と11人のいろいろなタイプの美人と犬が、屏風に所狭しと描かれていました。(写真がないのが残念)

花魁・遊女といえば、犬がつきもの。女芸者は二人一組。などの、セオリーを知ることができました・・・





最後、軽い打ち上げ・意見交換ができ、とても有意義な、楽しい一日でした。
尽力いただいた CA さんに感謝です。



以上